

Kato

ニューアルバム「華やかなる日」リリースライブ

『かとうかなこ — 華やかなる一夜 —』

「彼女が弾く姿を観てもらいたい」
端的に言ってしまうと、そういうことだ。

— 東京演劇アンサンブル 制作：太田あきら

クロマチック
アコーディオン
プレイヤー
CHROMATIC
ACCORDION
PLAYER

この「音楽」は、「見逃せない」!!

クロマチックアコーディオン。
今度の舞台の音楽は、生演奏です。
このジャンルでは、間違いなくトップミュージシャン。
プロフィールを見ただけでも、その才能に疑いはない。

大阪府豊中市出身。
4歳からアコーディオンをはじめる。
国内の各年代コンクールで優勝し、
17歳にしてアコーディオンコンクール総合優勝を果たす。
高校卒業後フランスに渡り、
4年の留学中「全仏コンクール」でも第1位を獲得する。
帰国後 全国でコンサート活動し、ソロアルバムを6枚リリース。
アルバムの楽曲は、多くのテレビ番組で取り上げられている。

今回の戯曲に似合う音を求め、
いろんなアイデアを持ち寄った結果、
「アコーディオンはどうか？」
そんな話をした後に、
演出・公家がリクエストしたのが、
クロマチックアコーディオンの音だった。
思いきって、メールをしたところから
お会いできることとなり、大坂へ向かった。

今回の芝居の音楽をお願いしたくて、
野外イベントの演奏を見た。
まったく予備知識もないまま、
ただ、一緒に仕事がしたいと話したのだが、
30分程度のミニコンサートを見て、
「あ、この彼女が弾く姿を、うちのお客さんに観てもらいたい」
端的に言ってしまうと、そういうことだ。
だから、生演奏でできないか。
大胆にもそんなお願いをしてしまった。

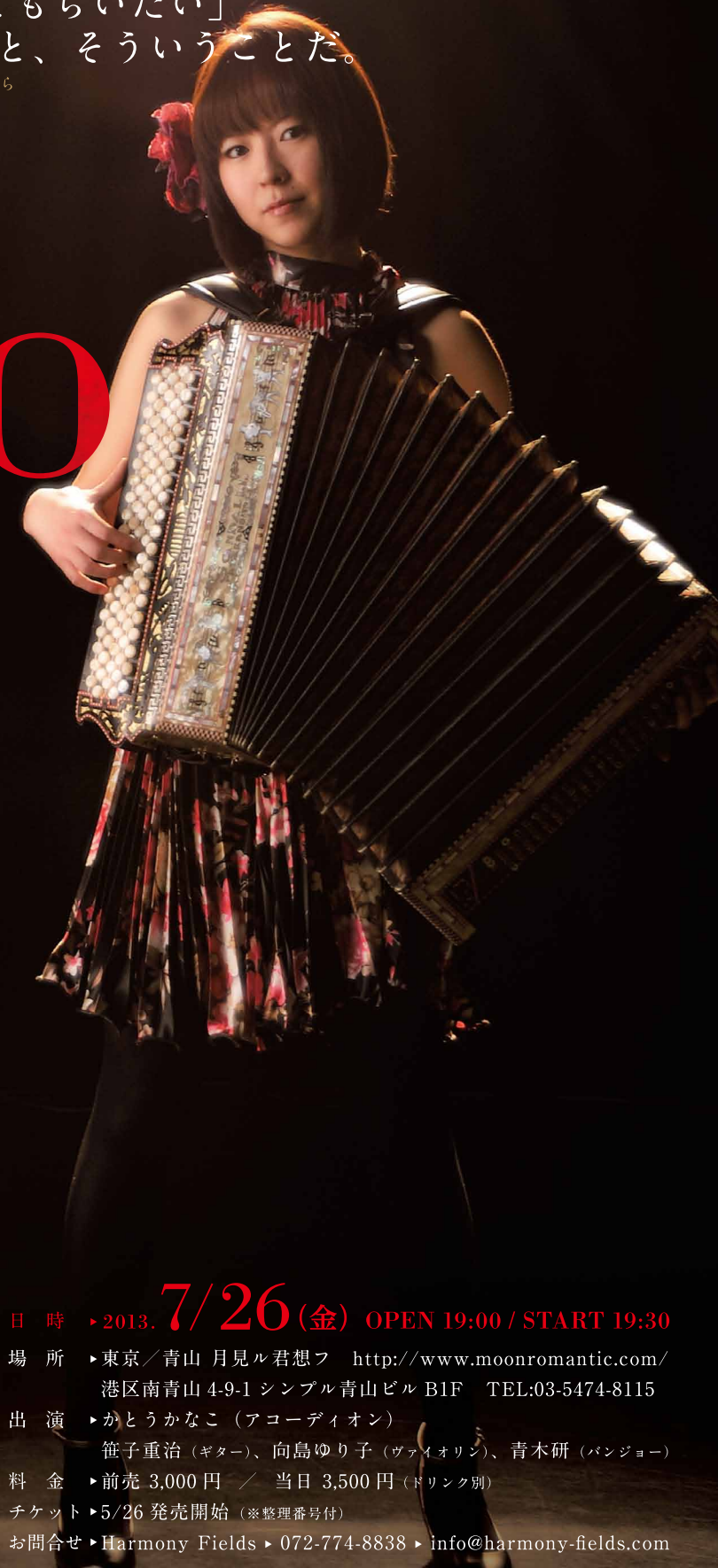
いきなりのお願ひにも、嫌な顔せず、
新しい出会いと、新しい挑戦に喜んでくれた。
後押ししてくれている彼女の所属事務所ハーモニーフィールズが、
北欧音楽のプロデュースをしているのも、
ぼくが勝手に親近感を覚えたりして……そんなに、知らない癖に。

稽古場に届いた曲は、
美しく、切なく、かわいらしい。
そして、ついに、かとうさんが稽古場にやってきた。
いきなり弾いていただくという図々しいお願ひにも、
見事な演奏で答えてくれる。
劇団員が聞き入っている。

この戯曲から香ってくる、ヨーロッパ・ドイツの匂い。
昔のようで、いまのようで。
ほら、こんな感じ、
ヨーロッパの街で見かけそうじゃないですか。

かとうさんの音楽は、見る音楽だ。
彼女自身の姿が、それそのものが、音楽だ。
耳で聴くだけでなく、目で見てこそ、その魅力を実感できる。

東京演劇アンサンブル
制作：太田あきら



日時 ▶ 2013. **7/26 (金)** OPEN 19:00 / START 19:30

場所 ▶ 東京 / 青山 月見ル君想フ <http://www.moonromantic.com/>
港区南青山 4-9-1 シンプル青山ビル B1F TEL:03-5474-8115

出演 ▶ かとうかなこ (アコーディオン)
笹子重治 (ギター)、向島ゆり子 (ヴァイオリン)、青木研 (バンジョー)

料金 ▶ 前売 3,000円 / 当日 3,500円 (ドリンク別)

チケット ▶ 5/26 発売開始 (※整理番号付)

お問合せ ▶ Harmony Fields ▶ 072-774-8838 ▶ info@harmony-fields.com

かとうかなこ

検索

www.katokanako.com